

第301回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成25年9月30日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員8人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
佐野 晃之	委員	藤井 敬久	委員
碓井 真史	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役（編成・報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	竹石 尚史
報道制作局長	稲田 裕之
制作部長	小木 祐介
番組プロデューサー	大橋 義宏

事務局	紫竹 聡子	水野 明子
-----	-------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「樽砧の響きに魅せられて ～にいがた総おどり～」

〔放送：平成 25 年 9 月 15 日（日） 15:00～15:55 放送〕

（説明：番組プロデューサー 大橋義宏）

2) 会社報告

- ・ 10 月期番組編成 (報告：編成部長)
- ・ 7、8 月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)
- ・ 定例の報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組は、新潟市で誕生した「にいがた総おどり」をテーマに生中継で放送したことが説明された。「にいがた総おどり」誕生から 12 年経て参加者数や開催規模も拡大し、全国に誇れるイベントに成長してきた。新潟市内 10 会場を舞台に繰り広げられる踊りの祭典を、現場の熱気や、臨場感とともに伝えようと、この規模の番組では異例の 3 会場生中継で放送した。中継カメラを配置したのは、10 会場のうち、メイン会場の万代、古町、金毘羅通りの 3 か所。また VTR で総おどりの歴史を紐解き、ルーツとなった新潟下駄総踊りについてもスポットを当てた。また地域や学校単位で参加していたグループの事

前練習の様子から、本番までを密着し、イベントのライブ感と合わせて地域の「人」にも注目し構成したことが説明された。

- この番組見て、イベントのことが良く分かった。中学校での取り組みや、地域の女性たちの取り組みを見て、数多くの団体が参加していることも知り多くの発見があった。
- 海外からの参加者がいるというコメントがあったので、外国人のインタビューもぜひ聞いてみたかった。
- 夜の踊りのシーンが見たかった。
- 踊りの解説をしていた能登さんのコメントが非常にわかりやすく良かった。
- 若者だけのイベントというイメージを持っていたので、今まであまり積極的に見ていなかったが、この番組を見て、イベントに対し好感を持つことができた。
- 若者から年配者まで、地域文化への思いを感じた。
- 早通中学校の事例は、地域の取り組みとしても非常に感銘を受けた。
- 会場に来ている観客のインタビューをもう少し聞いてみたかった。
- 新潟市以外の視聴者に対して、会場となっている街の説明がわかりづらかった。全体を分かりやすく説明できる工夫が欲しかった。
- 下駄と総踊りの関係の説明が分かりづらかった。
- 参加団体の数を説明していたが、県内と県外の参加構成など詳しく知りたかった。
- 地元局ならではの視点で、華やかなイベントの部分だけでなく、

歴史や地域の学校の取り組みや、人々の思いを取材していたところがよかった。

●生放送のワクワク感は伝わったが、観客と一体となった盛り上がり感がいまひとつ伝わってこなかった。観客の問題なのか、放送時間帯の問題なのか、参加者の高揚感だけが伝わってきた気がした。

●言い間違いかもしれないが、新潟総踊りのスタート時期についてのコメントが、出演者によって微妙に違っていたのが気になった。

●参加団体は、どういう単位で参加しているのか、また衣装や、音楽の紹介があってもよかった。

●制作意欲の高い番組と感じた。参加団体の迫力あるパフォーマンスや、MCの安定感は、よかった。

●史実を交え、伝統文化の再創造を伝えたこと、踊りを通じ、地域社会の育成や、地域発展の可能性を紹介したことはよかった。外部から訪れた観光客へのアピールになったと感じた。

●だれをターゲットにした番組だったのかを考えると、祭りの全体の概要、10 会場の場所やスケジュール、関わっている地域の人達の思いをもっと見せてほしかった。

●生放送でなく、後日、歴史を掘り下げたVTRでじっくり見せるスタイルでもよかったかもしれない。

●総踊りは、祭りではなくイベントであることを考えると、歴史の掘り下げは、生放送で表現するのは難しいのではないかと感じた。

●カメラを振ると閑散とした街が映ってしまう場面もあり、市民が盛り上がって一緒に喜んで参加しているというイメージが

読み取れない。踊っている人と観客が遊離している感じに見えてしまう、イベントの将来の展望が提起されるとよいと感じた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

7月……154件。

8月……152件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成25年7月23日)から昨日(平成25年9月29日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第300回審議会では、「未来へ!! 僕らの水族館 マリンピア日本海・リニューアルぜんぶ見せます!」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第301回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を

掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 10 月期番組編成表
- ・ 7 月、8 月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 7 月、8 月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（7/23、8/3、8/13、8/23、9/03、9/13）
- ・ BPO 報告（No.125、126、127）

以上